

5 環境教育・環境学習の推進

5-1 多様な環境教育・環境学習の推進

1 環境教育の推進体制(環境創造課)

(1)環境教育の推進指針

環境教育の目的は、環境問題に関心を持ち、環境に対する人間の責任と役割を理解し、環境保全に参加する態度及び環境問題解決のための能力を育成することにあります。

県民すべての世代にわたる体系的・総合的な環境教育を推進するため、平成17年に「山梨県環境基本計画」が策定され、環境学習施設の整備や充実を図るとともに、右表にあるような各事業の展開を通じて、県民の環境保全意識の高揚を図ってきました。平成21年3月に「やまなし環境教育実践指針」を策定し、行政、学校、企業、各種団体等が人の活動と環境容量との調和を図り、自主的な実践活動が行えるよう、学習の機会、機材、指導者、拠点施設・設備等の各基盤を整備しています。

(2)環境教育の推進体制

本県では、各部局にわたり様々な環境教育事業を展開しています。その体制と主な実施内容は右のとおりです。

2 環境教育の各種施策

(1)環境科学研究所における環境教室等(森林環境総務課)

森林環境部	
森林環境総務課	○「山の日」啓発活動推進等
環境創造課	○環境日本一やまなしづくり実践活動の推進
	○やまなしクリーンキャンペーンの展開
	○エコドライブ運動等各種普及啓発
	○ごみの減量化、リサイクル等の推進
○省エネルギー、クリーンエネルギーの普及啓発	
大気水質保全課	○大気・水質保全等公害防止に係る普及啓発
みどり自然課	○自然保護や緑化推進等に係る普及啓発
	○「八ヶ岳環境と文化の村」の運営
森林整備課	○森林整備、森林・山村地域の活性化、森林災害予防の普及啓発
林業振興課	○植樹運動、林業体験等を通じた林業普及
県有林課	○「森林文化の森」の整備と利用促進
環境科学研究所	○環境教育事業の実施 ○指導者の育成等
森林総合研究所	○森林・林業に関する調査・研究 ○森の教室等の実施
各林務環境事務所	○地域における環境保全活動の推進
教育庁	
義務教育課	○エネルギー教育推進事業の実施
社会教育課	○高校生やまなしネイチャー体験事業の実施
	○フロンティア・アドベンチャー「やまなし少年海洋道中」の実施
その他の部局	
生涯学習文化課	○やまなしまなびネットワークシステムの運営
企業局電気課	○クリーンエネルギー学習講座等の実施

県の環境教育推進体制と主な実施内容

環境科学研究所の環境教育部門では、環境問題を地球規模で考え、身近なことから実践することの大切さを学習する「環境教室」、「環境体験講座」、「環境映画会」、「身近な環境調査」、「地域環境観察会」や、「環境写真展」等の企画展示など、幅広い環境教育事業を実施しています。

事業名	H20実績	備 考
環境教室	団体を対象として随時開催	
やまなし環境映画会	8/2・3・10	・優れた環境映画の上映
環境体験講座	3回(各1日間)	・体験活動を取り入れながら、身のまわりのものを題材とした内容で開催
身近な環境調査	134校参加 (小・中学校)	・サクラの開花調査
地域環境観察会	5回	・地域の身近な自然などの観察会
環境科学講座	1回	・科学的なデータや知見を取り入れ、わかりやすい内容で開催
企画展示	4/19～6/22「山野草写真展」	
	7/5～9/7 「動物写真展」	
	9/20～11/23「きのこ写真展」	
	12/6～3/8「富士山・火山写真展」	

環境教育事業の概要(平成20年度)

(2)体験型環境学習の推進(交流エコ教室ほか)(環境創造課)

次代を担う子どもたちが、地域において楽しく自発的に環境学習及び環境保全活動を行う「こどもエコクラブ」の活動を支援し、その内容の充実を図っています。

①県内の加入状況(平成21年3月31日現在)

- ・クラブ数…12
- ・会員数…609人(全国:クラブ数…約4,200 会員数…約185,000人)

②事業内容

・交流エコ教室

こどもエコクラブのメンバーやサポーター、子どもたちとその保護者が交流を深めるとともに、自然の中で各種の体験を通して、今後の環境保全活動の一層の促進を図る。

〈平成20年度実施内容〉

平成20年8月9日(土) 八ヶ岳自然ふれあいセンター

参加者 こどもエコクラブメンバー及びサポーター、子どもたちとその保護者 76人

・こどもエコクラブ応援団

こどもエコクラブの活動や活動計画立案の際に応援を望んでいるサポーターと、地域で環境に関する専門知識を持って活動をされている方とをつなげることで、サポーターの悩みに応え、クラブの活動がより充実し、さらに継続的なものに発展することをねらっている。

〈平成20年度 応援団数 11名〉

・こどもエコクラブ全国フェスティバル

「こどもエコクラブ全国フェスティバル」大会に、県内の「こどもエコクラブ」から和泉エコクラブが、同フェスティバルに展示する壁新聞を提出した。

(3)学校林の活用推進(みどり自然課)

学校週5日制の実施や総合的な学習の時間の創設に伴い、森林の教育的利用に対するニーズが高まってきている中で、児童・生徒の森林環境教育の場として学校林を活用するために必要な指導助言や情報提供を行っています。また、活動の活発化を図るため平成19年度には「森林環境教育の手引き～学校林活用マニュアル～」を発行しました。

(4)どんぐりクラブ育成事業(みどり自然課)

小学生以下の子ども達に、山や森、公園に落ちているどんぐりを拾う活動を通じて、緑に親しみ、森林を大切にすることを育んでもらうことを目的として実施しています。また、集まったどんぐりは環境教育等への活用を図るため、県緑化センターで養成し、希望した小中学校や公園等に配付しています。

平成20年度は1,413人の子ども達が会員となり、集めたどんぐりの数に応じてコブシとミツバツツジを配付しました。

(5)エネルギー教育推進事業(義務教育課)

①啓発のための「リーフレット」及び「実践事例集」の作成・配布

- ・エネルギー教育を推進するため、県下の小4～中3の児童生徒全員が、日常生活で自ら実践できる一部記述式の「リーフレット」を作成し、配布する。
- ・先進的な実践校の様子を紹介した「実践事例集」を作成し、全県の小・中学校に配布する。

②エネルギー教育関連教材の貸し出し

- ・各学校で揃えにくいエネルギー教育関連教材を各教育事務所に備えておき、必要に応じて貸し出す。

③エコ活動推進キャンペーン ～地球のエネルギーについて考えよう～ の実施

- ・10月中旬～11月をエネルギー教育推進の強化月間とし、県下全ての公立小・中学校で一斉に省エネ・省資源活動の取組や発電・新エネルギーについての学習活動等を行う。

④ホームページの活用・更新

- ・義務教育課で開設しているホームページ「小中学生のためのやまなしの環境教育」を通じて、各学校の取組の様子や関連事業の紹介、環境教育・エネルギー教育の進め方等について情報発信を行う。

(6)高校生やまなしネイチャー体験(社会教育課)

未来を拓く教育の一環として、広い視野と豊かな国際感覚を持ち、自然に恵まれた郷土山梨を愛する青少年を育成するために、海外からの留学生と交流し、環境問題を体験的に学ぶことを通して、地域づくりに貢献できる若いリーダーの養成を図る、「高校生やまなしネイチャー体験」を実施しています。

①経 緯 平成6年度より事業を開始し、平成20年度で15年目を迎えた。

②平成20年度の実施内容

対 象 県内在住の高校生(参加者34名)

実施日 平成20年8月5日～8月7日 2泊3日

学習内容 ・環境学習(自然に親しみ、環境問題を理解するための体験活動を行った。)

・国際理解(外国人留学生との交流を行った。)

・職業体験(地域の自然を生かした仕事に関わる職業体験を行った。)

(7)青少年長期自然体験活動(フロンティア・アドベンチャー「やまなし少年海洋道中」)(社会教育課)

物質的な豊かさに伴う便利な生活環境の中ではなくまれている青少年に、本県にはない海洋における大自然の中で、非日常的、また原始的な野外活動生活を長期間実施することにより、青少年に心の豊かさや、たくましさをはぐくむ事業を実施しています。

また、実施に当たっては、美しい海洋の自然に触れることにより地球環境の大切さを感じ、人と自然との共存方法について考える機会をつくるとともに、生活環境の異なる地域の人々との交流を進めることにより、人と人との繋がりを考える機会ともしています。

①経緯 昭和63年度より事業を開始し、平成20年度で21回目を迎えた。

②平成20年度の実施内容

- 対 象 県内の中学生50名(男子30名、女子20名)
- 実 施 日 事前説明:平成20年6月15日 日帰り(ことぶき勸学院・大学院)
事前研修:平成20年7月5日～7月6日 1泊2日(県立愛宕山少年自然の家)
現地研修:平成20年8月1日～8月9日 8泊9日(東京都八丈島八丈町垂戸)
事後研修:平成20年8月20日 日帰り(県立八ヶ岳少年自然の家)
- 体験内容
- ・洋上体験(船での寝食、漁船クルージング、外洋の観察等)
 - ・自然体験(キャンプ生活、スノーケリング、野外炊事、サバイバル踏破、ビバーク等)
 - ・交流体験(八丈島の小中学生、住民の方等)
 - ・自主企画体験(自らの企画による活動、サバイバル踏破等)
 - ・自然環境体験(全期間での衣食住、天候、海洋及び海洋性の自然等)

(8)環境アドバイザーの派遣(環境創造課)

地域における環境保全意識の高揚を図るとともに地域の環境保全活動に資するため、県内の民間団体等が主催する環境保全に関する研修会等に、「環境アドバイザー」を派遣しました。

平成21年度からは、「環境アドバイザー」は「やまなしエコティーチャー」に変わります。

自然環境分野		生活環境分野	
氏名	役職等	氏名	役職等
跡部 治賢	NPO法人自然とオオムラサキに親む会会長	青木 のり子	ユートピアこふ緑の会代表
伊野 良夫	早稲田大学名誉教授	芦澤 公子	NPO法人みどりの学校理事長
梶原 昇	県立高校非常勤講師	飯塚 さかえ	県女性団体協議会会長、県生活学校連絡会相談役
口野 道男	山梨地学会顧問	石井 進男	山梨環境カウンセラー協会会長
近藤 愷行	作家、県立文学館館長	内田 勝己	NPO法人みどりの学校副代表
齋藤 一紀	(財)日本鳥類保護連盟専門委員	大津 巖	シチズンセイミツ(株)勤務
流石 皇甫	美花里自然教室代表	草野 香青恵	環境省環境カウンセラー
瀬田 實	山梨動物生態研究会会長	黒田 光秀	(株)総合リサイクルセンター黒田・代表取締役
田中 収	六月短期大学名誉教授	櫻林 いさを	環境省環境カウンセラー
内藤 邦雄	NPO法人みどりの学校専務理事	佐藤 悦子	やまなし環境会議常任理事
中川 雄三	動物写真家、日本野鳥の会富士山麓支部副支部長	塩崎 洋子	放課後子ども教室「みんなの居場所」羽黒ほっとサロン」代表
中込 司郎	山梨県植物研究会会長	志沢 美香	こどもエコライフネット理事
中村 司	山梨大学名誉教授	島崎 洋一	山梨大学准教授
野澤 健夫	HOOKかんきょう「協育」事務所代表	清水 喜美男	環境省環境カウンセラー
堀内 美千恵	環境保全創造の会会長	鶴田 和彦	横河電機(株)勤務
宮本 克己	マンズワイン(株)勤務	中村 伯男	環境省環境カウンセラー
山田 健一郎	県地球温暖化防止活動推進員	中村 遼子	地球環境女性連絡会会員
山本 純治	山梨科学アカデミー会員	藤巻 真史	(株)田丸・代表取締役会長
依田 正直	やまなし野鳥の会会長	宮内 厚子	県地球温暖化防止活動推進員
渡辺 尚希	アクトアドベンチャーアズ代表	望月 あけみ	NPO法人みどりの学校事務局長
		山坂 右内	(株)メイキョー技術顧問 山梨科学アカデミー会員

やまなしエコティーチャー登録簿(平成21年10月1日現在)

平成20年度実績

回数	月・日	主催団体	テーマ	アドバイザー	参加人数
1	4月27日	櫛形環境とリサイクルの会	環境問題講演「地球温暖化のメカニズムと防止について」	志沢美香	28
2	5月9日	北杜市立泉中学校	第1学年校外学習	伏見 勝	48
3	5月23日	ポトリの会	地球温暖化問題にどう向き合うか(一人一人にできる取り組みについて)	志沢美香	80
4	6月8日	甲府市立中道北小学校	環境の窓から福祉を見つめて	黒田光秀	200
5	6月8日	増穂町立保育所保護者会	ストップ! 温暖化～未来の子供たちのために、今私たちにできること～	芦澤公子	20
6	6月9日	宗教法入光院 青壮年部	自然エネルギーの利用について	芦澤公子	32
7	6月11日	甲府北東公民館絆女性学級	地球温暖化について	志沢美香	48
8	6月15日	折居自治会	清哲町の自然環境と地震防災対策について	口野道男	50
9	6月19日	池田高齢者学級	山梨の魅力	田中 収	61
10	6月21日	韮崎市中央公民館	地球温暖化と韮崎の自然	瀬田 實	45
11	6月25日	韮崎市青年団OB同志会	暮らしの中で環境問題を考える	藤巻真史	23
12	6月25日	東山梨教育協議会	自然との共生をめざした環境教育のあり方	伏見 勝	18
13	6月28日	富浜公民館	地球温暖化についての講演会	芦澤公子	48
14	7月11日	生活クラブ生活協同組合	環境学習会	芦澤公子	14
15	7月11日	富士吉田市立明見小学校	総合的な学習の時間「今も未来も住みよい明見」	黒田光秀	102
16				望月あけみ	
17				芦澤公子	
18	7月21日	(社)大月青年会議所	エコキャンプ2008	芦澤公子	78
19	7月27日	春米青少年育成区民会議	地球温暖化防止のために	芦澤公子	50
20	7月28日	韮崎市立北東児童センター	昆虫の話	瀬田 實	31
21	7月30日	峡南環境美化保全推進委員会	地域におけるエコ活動の推進について	飯塚さかえ	25
22	8月21日	韮崎市立甘利児童センター	身近な暮らしの中から考える省エネとゴミ減らし	望月あけみ	46
23	8月26日	箕輪南部長寿会	高根町の地質環境と地震防災対策	口野道男	37
24	8月28日	北杜市立武川小学校	自然エネルギーを知ろう	芦澤公子	33
25	8月30日	山梨アカデミーライオンズクラブ	環境問題についての実践～1人の100歩より100人の1歩を～	藤巻真史	220
26	9月13日	産業観光研究会	産業観光第17回 山城ひまわり第一発電所太陽光発電の見学	芦澤公子	16
27	10月4日	富士吉田市立吉田小学校	親子環境学習会「地球温暖化について知ろう」	芦澤公子	1,030
28				望月あけみ	
29	10月11日	space“もやい”	日常生活の中の電磁波について考えてみよう	中村道子	30
30	10月13日	大月市ごみ減量化推進協議会	地球温暖化についての講演会	志沢美香	100
31	10月15日	たくみ女性学級	地球に優しいエコ料理教室	芦澤公子	42
32	10月18日	北杜市立武川小学校	ふれあい道德懇談会 身近な自然の楽しみ方	中川雄三	60
33				瀬田 實	
34	10月19日	山梨山の会	人と動物と自然との共存を目指して	中川雄三	46
35	10月25日	南アルプス市立小笠原小学校PTA	地球温暖化の影響とその対策(私たちにできること)	芦澤公子	45
36	11月6日	花とみどりの教室	富士山五合目の自然環境と山中湖花の都公園・三島文学館を探る研修	口野道男	20
37	11月7日	山梨県年金受給者協会甲府東支部	太陽光エネルギーを活用した災害時の対応について	芦澤公子	39
38	11月8日	諏訪公民館	食と環境	藤巻真史	12
39	11月12日	県立吉田高等学校	身近な取り組みから地球環境問題までを考える講演会	志沢美香	955
40	11月14日	鰍沢町立五開小学校	PTA親子学習会「親子で楽しむ身近な自然」	中川雄三	41
41	11月19日	県立増穂商業高等学校	総合的な学習の時間「環境問題について」	芦澤公子	260
42	11月21日	甲府市立国母小学校	第5学年環境学習「身近な自然に目を向けよう」	依田正直	180
43	11月23日	伊藤窪公民館	穴山町の自然環境と地震防災対策	口野道男	75
44	12月10日	山梨市中央公民館	子どもの未来のための環境講座	藤巻真史	16
45	1月13日	生活クラブ共済委員会	電磁波学習会	中村道子	25
46	1月14日	(社)山梨県産業廃棄物協会	産業廃棄物の適正処理と再資源化	鶴田和彦	38
47	2月10日	甲府北東公民館女性学級	私たちにできる地球温暖化	志沢美香	58
48	2月26日	峡南消防本部職員互助会	一人から始まるエコ活動	藤巻真史	45
49	3月8日	ハヶ岳南麓観光ドットコム	野鳥の生態に見る自然環境の変遷	齋藤一紀	20
50	3月13日	ハヶ岳ふるさと倶楽部	バードウォッチング	齋藤一紀	30
計					4,562

5-2 人材の育成

1 環境科学研究所の取り組み(森林環境総務課)

山梨県環境科学研究所では、環境問題や環境教育への理解をより一層深めることを目的に、また、将来的には地域の環境活動を推進しうる人材を養成する第一歩となるよう、環境生涯学習プラン「山梨環境科学カレッジ及びカレッジ大学院」を開講しています。平成20年度の実績は次のとおりです。

山梨環境科学カレッジ

種別	内容	講師	実施日	参加者数
指定講座	1) 開講式・環境科学講座 「富士山・甲府盆地の自然災害と景観美を考える」	山梨県立大学非常勤講師 林 晏宏 地滑りセンター理事 池谷 浩	5/17	44
	2) やまなし地球環境映画会07	(アース・ビジョン組織委員会共催)	8/2・3・10	37
	3) 地域環境観察「剣丸尾 自然探検」	日本野鳥の会富士山麓支部 中川雄三 宮下義夫 水越文孝	11/1	38
優先講座	1) 富士山五合目自然観察	茨城大学理学博士 田中厚志 本研究所研究員	8月9日	17
	2) 秋の自然ときのご観察会	森林総合研究所主幹研究員 柴田 尚	10月4日	18
選択講座	1) 企画展示～写真展 動物写真・富士山火山写真展・きのこ写真		4/19～3/8	18
一般講座	1) 富士山溶岩流観察	本研究所研究員	8月30日	8
	計			180

山梨環境科学カレッジ大学院

種別	内容	講師	実施日	参加者数
開講 指定講座	開講式・環境科学講座 「富士山・甲府盆地の自然災害と景観美を考える」	山梨県立大学非常勤講師 林 晏宏 地滑りセンター理事 池谷 浩	5/17	17
基礎講座	A) 自然観察会の手法と運営	環境教育スタッフ	5/31	17
	B) アカマツ林の調査意義と手法	中野研究員		
専門講座	A) 富士山の自然(自然系)	興水・中野・吉田研究員	6/14	17
	B) 生理機能測定(健康系)	永井・石田研究員	7/12	17
	C) 人と自然の関わり方を考える(地域系)	小笠原・森・齋藤研究員	9/20	17
臨地講座	A) アカマツ林調査と解析について	環境教育スタッフ 中野研究員	6/28	17
	B) 青木ヶ原を訪ねる	環境教育スタッフ 富士河口湖町自然解説員	9/6	17
応用講座	A) 自然観察プログラムの実際	環境教育スタッフ 富士河口湖町自然解説員	7/27	17
	B) 自然観察プログラム作成・模擬実施	環境教育スタッフ	10/11	17
修了式	自然解説模擬実施とカレッジ大学院のまとめ	環境教育スタッフ	11/8	17
	計			170

2 森林総合研究所における研修(林業振興課)

林業従事者や後継者、また将来の担い手となる者を対象に技術研修を行い、地域林業や森林・林業教育の中核的指導者となるよう人材養成を行っています。平成20年度の実績は次のとおりです。

(1) 専門研修(対象:県、市町村及び森林組合職員 ほか)

研修教科	内 容	実施日	参加者数
林業機械	小型車両系建設機械(整地、運搬、積み込み用及び掘削用)	H20.4.23/24	1
森林保護	松くい虫被害のメカニズムとその対策について	H20.4.25	38
資源利用	ウッドマイルージによる地域材利用推進	H20.5.19	56
林業機械	林業架線作業主任者免許規定に係わる講習	H20.5.22～H20.7.3	3
林業機械	架線系機械集材技術の基礎	H20.6.17/18	4
森林保護	保安林実務	H20.6.18	14
林業機械	はい作業主任者技能講習	H20.7.8/9	2
森林保護	森林生態・野生生物情報研修	H20.9.19	83
林業機械	林業における労働安全対策	H20.9.19	40
林業機械	高性能林業機械による利用間伐	H20.10.3/7	5
林業経営	森林組合監査研修	H20.10.24	53
林業経営	海外の林業と政策	H20.11.18	44
資源利用	森林バイオマス研修	H20.12.5	99
林業経営	提案型集約化施業及び森林施業プランナー育成研修	H20.12.18	28
林業機械	チェーンソー、刈り払い機の取り扱い研修 (安全な伐木造材作業の実習)	H21.1.7,8,15	7
林業機械	「GPS-GISの活用」研修	H21.2.10	5
森林保護	「造林、森林保護における研究成果及び被害対策について」	H21.2.13	21
林業機械	刈り払い機の取り扱い方法	H21.2.17	9
	合計		512

(2)基礎研修【新規参入支援研修】(対象:林業への参入・就業希望者)

科目	内 容	実施日	参加者数
森林・林業の概論	山梨の森林・林業	H20.5.12	10
	林業が抱える問題等	H20.5.13	10
育林技術	森林施業の内容	H20.5.15	10
伐木・造材・搬出技術	伐木・造材に関する知識 県森連木材市場の見学	H20.5.16	8
	林業機械に関する知識	H20.5.20	6
林内路網	作業路に関する知識 簡易作業路の作設現場の視察	H20.5.21	6
計			50

(3)技能者養成研修(対象:林業従事者)

研修教科	実施日	参加者数
小型車両系建設機械(整地、運搬、積み込み用及び掘削用)	H20.4.23/.24	5
林業架線作業主任者免許規定に係わる講習	H20.5.22～H20.7.3	6
はい作業主任者技能講習	H20.7.8/9	8
計		19